

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(1)-ア	全産業における労働生産性の向上	施策	①リゾテックおきなわの推進による産業DXの加速化
			施策の小項目名	〇全産業におけるDX促進
主な取組	スマート農林水産技術の実証		対応する成果指標	各種支援によりDXの取組が促進された企業数(累計)
施策の方向	・小売業や飲食店・宿泊業等サービス業における予約・注文のオンライン化やキャッシュレス決済の導入、建設産業におけるi-Construction及びBIM/CIM等の促進、医療・介護分野におけるロボット・ICT化、農林水産業におけるドローン活用及びデータ分析等による生産性向上など、全産業におけるDXを促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
持続可能な農林水産業の振興を図るため、関係機関と連携の下、デジタル技術等のスマート農林水産技術を活用した省力化に向けた実証に取り組む。	県,市町村,農協等	スマート農業機器や技術等を活用した実証展示ほの設置		
		展示ほ設置産地数(累計)		
		1地区	1地区(2地区)	1地区(3地区)
担当部課【連絡先】	農林水産部農林水産総務課	【 098-866-2254 】	関連URL	-

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	スマート農業実証プロジェクト			予算事業名	-		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
国直轄	委託			主な財源	実施方法	当初予算額	
				-	-		
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
令和4年度の実施地区において、継続して先端技術を活用したさとうきび栽培における省力化、品質向上等に向けた取組を支援した。				当該事業は、令和5年度をもって新規地区の採択を終了している。 今後は、実証された先端技術等について、既存事業等による横展開を検討する。			
活動指標名	展示ほ設置産地数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		-地区	1地区	-地区	1地区 (2地区)	50.0%	大幅遅れ

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>スマート農業の展示ほ設置を令和4年度から引き続き支援したが、当該事業は、令和5年度をもって新規の実証地区の採択を終了しており、活動指標の進捗は大幅遅れとなった。 今後は、本事業で実証された先端技術等について、他産地への横展開を図るため、既存の他事業による技術導入に取り組む。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○スマート農業技術については、全国各地で目覚ましい技術の進展があることから、関係機関との連携により、他地域における優良事例を参考とした技術を下に導入の検討を進める。 ○人手不足の状況が進んでいる状況を踏まえて、関係機関と連携し、農作業の省力化等に向けた先端技術の導入に向けた取組を進める必要がある。</p>	<p>○さとうきび栽培における省力化等に向けた先端技術については、関係機関と連携した導入に向けた検討が進められており、普及に向けた取り組みの進展が見られる。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	○国直轄の当該事業は、令和5年度をもって新規の実証地区の採択を終了しており、今後は、本事業で実証された先端技術等について、横展開を推進することとなっている。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	○実証が進められた省力化等に向けた先端技術については、関係機関と連携し、他産地への普及に向けて関係機関と連携した取り組みを進める。

